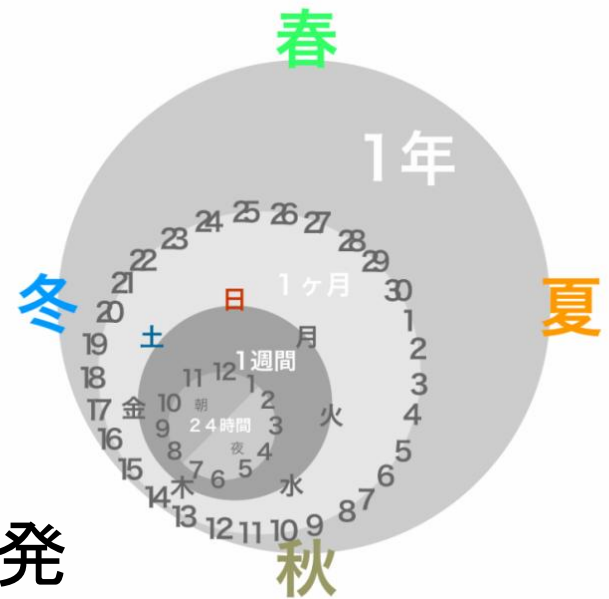


生涯利用できる 『記録-再生』循環による情報発見環境の開発

- さまざまな情報が記録可能な社会になったが、記録される一方、蓄積された情報活用方法に革新的な方法がほとんどない。
- 研究面においても、記録、蓄積に関する研究が多く、どう活用するは課題である。
- 本プロジェクトは、膨大に蓄積されゆく情報（＝記録）に対して直後にユーザに対して情報提示（再生）し、情報を活用するシステムの開発を行った。

本プロジェクトのアプローチ

- 人間の活動周期に着目 (ex: 昨日の夕飯が〇〇だから。今日は〇〇)
- 活動周期に即した情報提示による情報活用
- ReflectiveVision
 - 周期的な過去を参照することで未来を予測できる環境
 - 日常を常時記録し特定の周期で再生する環境
 - ReflectiveClock, Calendar,
 - ReflectiveDesktop(+Memo)を開発



日常を日常的に 参照可能にする情報環境の実現

- ReflectiveClock
 - 常時記録
 - 前日の同じ時刻で常時再生
- RefelctiveCalendar
 - 常時再生
 - 全日日が同じ時刻で再生
- ReflectiveDeskTop
 - PC上の作業画面を記録し
 - 次の日の同じ時刻に再生

